



## オーディオ・ホームシアター展 終了にあたって

日本オーディオ協会 副会長  
オーディオ・ホームシアター展 実行委員長

加藤 滋



10月19日(金)~21日(日)に開催いたしました「オーディオ・ホームシアター展」にご来場を頂き、誠に有り難うございました。好天にも恵まれ好評のうちに無事終わることが出来ました。これもひとえにご出展社、各種催事関係者、会場運営関係の皆様方のご支援とご協力があったのことに関係者一同感謝をし、心から御礼を申し上げます。

総入場者数は3日間で27,500人(前年26,600人)と昨年を3.4%上回るファンの方々が来場され、大いに楽しんで頂きました。

今年の特徴として当日登録者数は微増に対し、事前登録者数が前年比158%と大幅に伸びています。

これは、日本オーディオ協会創立60周年に因んで「音の歴史館」の展示と講演、「日本プロ音楽録音賞エントーリー作品ディスク試聴会」、「ブルーレイオーディオ等ハイレゾデスク試聴会」、大編成プラスバンドによる「ライブレコーディング体験会」など、記念プログラムを組んだことや、昨年導入した「音のサロン」が好評で昨年入場できなかった人が出たことなどから、目的を明確に持ったファン層が早めに登録し来場したものと推測できます。

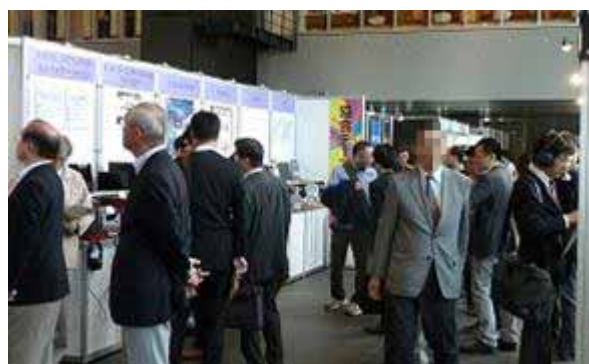
総入場者数でも初日が6,400人(前年比125.5%)、2日目11,900人(前年比101.7%)、最終日9,200人(前年比93.9%)と日にち別に見ても同様に推測できます。一方、会場別推計ではUDXビルは最終日まで入場者が途切れなかったことは、フリーの若年層を最後まで引き付けられたことと認識できます。反面、富士ソフトビルでは最終日は早く来場者が引けたことから目的明確者であったといえます。また、入場者の年齢層は昨年に比べ完全に若返っているものと認識できました。

UDXビルでは、特に3回目となる協会テーマブースである、PCオーディオ、DLNA、モバイルオーディオ、配信コンテンツのコーナーや、最新カーオーディオ試聴ブースは順番待ちの行列が出来るなど、特に若い人たちに人気を博していました。一方、事前告知方法や当日会場周りの案内及びお客様への接遇など、まだまだ改善しなければならない事項も多々見受けら、お客様やご出展の皆様にご不便や、ご不快の念を与えましたことを心からお詫びを申し上げます。

次年度の開催予定につきましては今次報告がまとまり次第、ご案内をさせていただきます。



<オープニングセレモニー>



<UDX 会場風景>



<音の歴史館>



<音のサロン>